

# パスワード安全性の比較

作成：愛知県警察サイバー犯罪対策課

## 危険

## 安全

自分に関する情報を  
を組み合わせたパスワード

例：tarou0301  
例：lovetarou  
例：tarou20050301



- ・他人が知っている情報なので推測可能
- ・パスワードとして使うのにふさわしくないもの一例
  - 名前  
(家族、ペット、好きな有名人、あだ名など)
  - 誕生日
  - 電話番号
  - 車のナンバー
  - 英単語を使用
- ・あなたのことをよく知る人ほど、不正アクセスすることが可能になる

複雑だが同じパスワード  
を使いまわす

例：3v(n\*VM%Ht5!



- ・ひとつのサービスからパスワードが流出した場合、他のサービスに対しても不正アクセスされる可能性がある



サービス名+コアパスワード

例：SNSJI8n057P2I  
例：shopJI8n057P2I  
例：bankJI8n057P2I



- ・比較的安全で覚えやすい
  - ・コアパスワードが知られると他のサービスで試される危険性がある
  - ・サービス名の最初の何文字かを前につけて、残りの文字を後ろにつける等、工夫したルールを決めるとより安全
- 例：SNJI8n057P2IS  
例：shJI8n057P2Iop  
例：baJI8n057P2Ink

複雑なパスワード  
を使いまわさず個別に設定

例：YSH8hALsF)4m  
例：7NEjH/S2Jmny  
例：Lzgj%E7qNjIG



- ・サービスごとに人間が覚えることは不可能
- ・パスワード管理ソフトや手書きメモで管理する必要がある
- ・クラウドサービスで管理すると便利だが、クラウドサービスが突破された場合、管理していたパスワードが全て漏れるので危険

サービスが2段階認証に対応していたら有効にする (SMSや認証システムアプリ)

※例示のパスワードは使用しないでください。 ※コアパスワードの活用方法はIPA(独立行政法人情報処理推進機構)のウェブサイト <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20160803.html> に詳細が掲載されています。